

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【公表番号】特表 2018-526042 (P2018-526042A)

【公表日】平成 30 年 9 月 13 日 (2018.9.13)

【年通号数】公開・登録公報 2018-035

【出願番号】特願 2017-560595 (P2017-560595)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/005 (2006.01)

A 6 1 B 1/008 (2006.01)

A 6 1 B 1/018 (2006.01)

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

A 6 1 B 17/29 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 6 5 0

A 6 1 B 1/005 5 2 3

A 6 1 B 1/008 5 1 2

A 6 1 B 1/018 5 1 5

A 6 1 B 1/00 6 8 2

A 6 1 B 1/00 7 1 1

G 0 2 B 23/24 A

A 6 1 B 17/29

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 12 日 (2019.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

二つの回転可能なつまみを介して変位可能なシャフトを有する内視鏡に取り付け可能な制御ユニットであって、以下のものを含む制御ユニット：

(a) 制御ユニットのハウジングに取り付けられたピボット支持体上に取り付けられかつ手の掌によって係合可能な第一インターフェースを含むユーザーインターフェース；及び
(b) 前記ユーザーインターフェースを介して操作可能な駆動ユニットであって、二つの回転可能なつまみを係合し、それによってユーザーが前記第一インターフェースを介して内視鏡のシャフトの変位を制御することができる第一駆動機構を含む駆動ユニット。

【請求項 2】

二つの回転可能なつまみのうち第一の回転可能なつまみが、シャフトの上／下の変位を制御し、二つの回転可能なつまみのうち第二の回転可能なつまみが、シャフトの左／右の変位を制御し、さらに前記第一インターフェースが、シャフトの上／下と左／右の両方の変位を制御する、請求項 1 に記載の制御ユニット。

【請求項 3】

前記第一駆動機構が、前記第一インターフェースを介して操作可能な少なくとも一つのモーターを含む、請求項 1 に記載の制御ユニット。

【請求項 4】

前記少なくとも一つのモーターが、二つのつまみを操作する、請求項 3 に記載の制御ユニット。

【請求項 5】

前記第一駆動機構が、前記少なくとも一つのモーターと二つのつまみの間に介在された一組の歯車を含む、請求項 4 に記載の制御ユニット。

【請求項 6】

前記駆動ユニットが、内視鏡の作用通路を通して配置可能な手術器具の手動操作可能な端に係合するための第二駆動機構をさらに含む、請求項 1 に記載の制御ユニット。

【請求項 7】

前記第一インターフェースに旋回可能に取り付けられかつ前記手の一つ以上の指によって係合可能な第二インターフェースであって、前記第二駆動機構を通して前記手術器具を操作するための第二インターフェースをさらに含む、請求項 6 に記載の制御ユニット。

【請求項 8】

前記第一インターフェースに旋回可能に取り付けられ、かつ前記掌が前記第一インターフェースと係合されるときに前記手の甲に拘束力を付与するために弾性変形することができる要素を有する拘束具をさらに含む、請求項 1 に記載の制御ユニット。

【請求項 9】

前記ピボット支持体が、ジンバルに入れられている、請求項 1 に記載の制御ユニット。

【請求項 10】

前記第二インターフェースが、前記手の親指及び人差し指を介して同時に操作可能なパッドを含む、請求項 7 に記載の制御ユニット。

【請求項 11】

前記第二駆動機構が、サーボ機構を含む、請求項 6 に記載の制御ユニット。

【請求項 12】

遠隔装置を無線制御するための第三インターフェースをさらに含む、請求項 1 に記載の制御ユニット。

【請求項 13】

前記手術器具が、前記第二インターフェースを介して制御可能なエフェクター端及び操縦可能なシャフトを含む、請求項 7 に記載の制御ユニット。

专利名称(译)	用于柔性内窥镜的控制单元		
公开(公告)号	JP2018526042A5	公开(公告)日	2019-07-18
申请号	JP2017560595	申请日	2016-08-11
[标]申请(专利权)人(译)	人类延伸有限公司		
申请(专利权)人(译)	人类Ekusutenshonzu有限公司		
当前申请(专利权)人(译)	人类Ekusutenshonzu有限公司		
[标]发明人	ショレヴモルデハイ		
发明人	ショレヴ, モルデハイ		
IPC分类号	A61B1/00 A61B1/005 A61B1/008 A61B1/018 G02B23/24 A61B17/29		
CPC分类号	A61B1/00133 A61B1/00066 A61B1/0016 A61B1/0052 A61B1/045 A61B17/29 A61B2017/003 A61B2017/0034 A61B2017/00398 A61B2017/00424 A61B2017/291 A61M25/0136		
FI分类号	A61B1/00.650 A61B1/005.523 A61B1/008.512 A61B1/018.515 A61B1/00.682 A61B1/00.711 G02B23/24.A A61B17/29		
F-TERM分类号	2H040/BA21 2H040/DA21 2H040/DA41 4C160/GG24 4C160/GG26 4C160/GG30 4C161/BB02 4C161/CC06 4C161/DD03 4C161/FF12 4C161/GG11 4C161/GG15 4C161/HH21 4C161/HH33 4C161/HH47 4C161/JJ06 4C161/JJ19		
代理人(译)	Kazehaya信明 浅野纪子		
优先权	62/203421 2015-08-11 US		
其他公开文献	JP2018526042A		

摘要(译)

提供了一种可附接到具有通过两个可旋转旋钮可移位的轴的内窥镜的控制单元。该控制单元包括用户界面，该用户界面安装在枢轴支撑件上，该枢轴支撑件安装到该控制单元的壳体上，并且包括可通过手掌接合的第一界面。控制单元进一步是驱动单元，该驱动单元可通过用户界面操作以接合两个可旋转的凸片，从而允许用户通过第一界面来移位内窥镜的轴。它包括可以控制的第一驱动机构。[选型图]图1